

●お知らせコーナー ～静岡県、市町からのお知らせ～

◆ツインメッセ静岡で開催の産業フェアへブースを出展

静岡県及び静岡市では11月28、29日にツインメッセ静岡で開催した「産業フェアしずおか2015」にてブースを出展し、来場されたお客様へ、浜松いなさJCT～豊田東JCT間の開通PRや静岡SAスマートICの知名度向上のための活動を実施しました。



パネル展示の様子

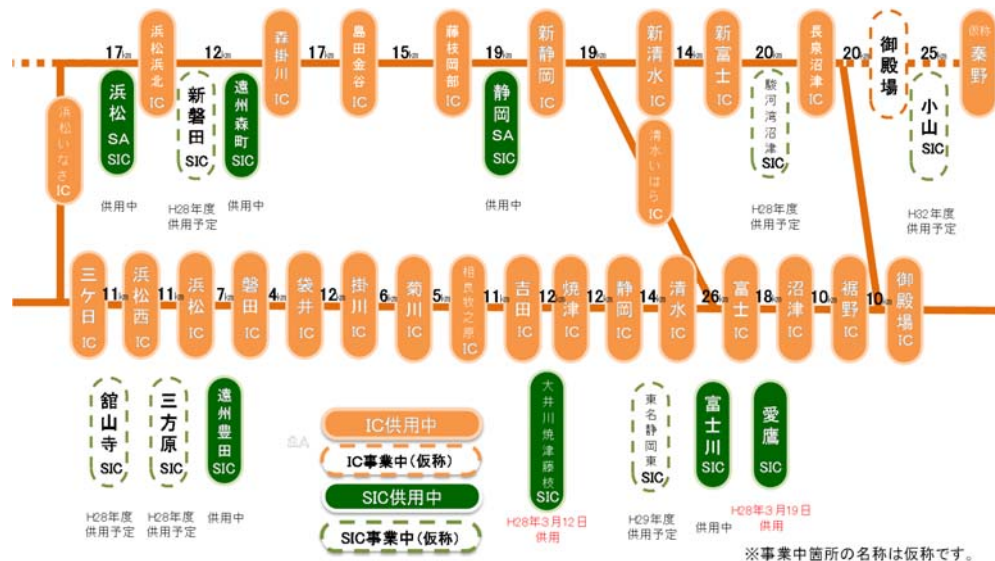
◆スマートICの名称が決定しました。

新東名高速道路 駿河湾沼津サービスエリアに接続するスマートインターチェンジの名称が、平成27年12月15日付で「駿河湾沼津スマートインターチェンジ」と決定しました。今後、平成28年度末の供用開始を目指して、工事を実施していきます。

◆県民だより3月号に、スマートICの開通情報などが、掲載されました。

平成28年2月28日に発行された県民だより「ふじのくにの“みちづくり”」の最新情報が掲載され、高速道路の開通予定時期や今年度開通するスマートICなどが紹介されました。

●静岡県内のIC・スマートICの位置関係と供用予定



編集・発行



静岡県スマートIC協議会

事務局 静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL:054-221-3359

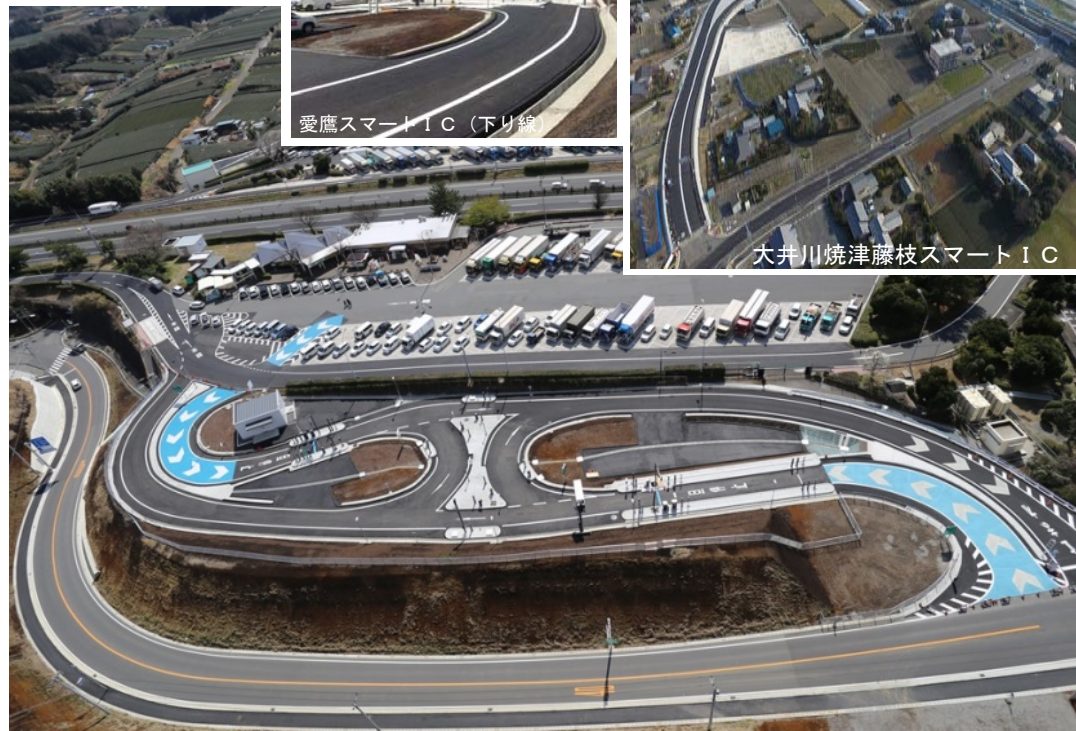


しずおかがっとスマート化計画

スマートICだより



愛鷹スマートIC



愛鷹スマートIC (下り線)

大井川焼津藤枝スマートIC

トピック

祝 開通記念号

- 1 開通によせて① ～ 大井川焼津藤枝スマートIC ～
- 2 開通によせて② ～ 愛鷹スマートIC ～
- 3 新東名(愛知県区間)が開通
- 4 お知らせコーナー ～ 静岡県、市町からのお知らせ ～
- 5 静岡県内のIC・スマートICの位置関係と供用予定

この3月、新たに2箇所スマートインターチェンジが開通！

県内のスマートインターチェンジ数は7箇所となり、高速道路がますます便利に！

祝
3/12
開通

大井川焼津藤枝スマートIC

大井川焼津藤枝スマートIC開通に寄せる期待

焼津市長 中野弘道

大井川焼津藤枝スマートICは、昭和63年に藤枝市商工会議所と大井川商工会が中心となり東名藤枝・大井川インター協議会を立ち上げ、地域活性化・交通渋滞緩和・災害対策等においてICは必要不可欠であるとの結論に達したことから、設置に向けた陳情活動等を実施してまいりました。

平成19年には、国、県、ネクソコ中日本、県警本部、2市1町（藤枝市・焼津市・旧大井川町）で勉強会を立ち上げ、市民の皆様のご意見等を参考に導入へ向けた調査・検討を重ね、現在の位置・型式に決定し、整備が進められました。

この度、東名高速道路では初となる本線直結のスマートICの開通を機に、さらに藤枝市・焼津市が共に潤い、活力あふれる街に発展することを大いに期待します。



- 設置場所：東名高速道路 焼津IC～吉田IC間（焼津ICから西へ約8.0km）
- 事業主体：焼津市、藤枝市、中日本高速道路（株）
- 利用時間：24時間利用可能
- 出入方向：全方向利用可能（東京方面、名古屋方面）
- 対象車種：ETC車載器を搭載した車長16.5m以下の車種
- アクセス道路：市道0105号線

祝
3/19
開通

愛鷹スマートIC

沼津市に新たな西の玄関口がオープンします！

沼津市長 栗原裕康

平成28年3月19日、東名高速道路に愛鷹スマートICが開通いたします。また、平成29年3月には、新東名高速道路の駿河湾沼津スマートICの開通も控えており、本市への広域交通アクセスは格段に向上し、新たな人・物の流れをつくる好機と捉えております。

開通により、防災拠点へのアクセス向上による緊急活動の支援、高速道路へのアクセス向上による産業支援、救命センターへの搬送時間短縮と定時制の確保、更には新たな玄関口による観光振興等、様々なストック効果が期待されておりますので、今後のまちづくりに積極的に活用してまいりたいと考えております。



- 設置場所：東名高速道路 愛鷹PA（沼津ICから西へ2.6km）
- 事業主体：沼津市、中日本高速道路（株）
- 利用時間：24時間利用可能
- 出入方向：全方向利用可能（東京方面、名古屋方面）
- 対象車種：ETCを搭載した車長12m以下の車両
- アクセス道路：市道0118号線、市道0105号線

災害時の緊急活動支援

新たな玄関口による観光振興

病院への搬送時間短縮

詳しいストック効果はこちら →

新東名（愛知県区間）が開通

平成28年2月13日、新東名高速道路（浜松いなさJCT～豊田東JCT間の約55km）が開通しました。

これにより、愛知県内の東名の慢性的な渋滞が大幅に緩和され、高速道路の速達性や定時性が確保され、物流の効率化や観光圏域の拡大など、様々なストック効果が期待されます。

